



二つの委員会の活動を導く原則

私たちは以下の事柄を決意します:

- 段階的に変更をしていきます。
- 絶えずコミュニケーションを保ち、評価し、適応の機会を設けます。
- 決定のプロセスにおいて、若いメンバーを含めるように特別な配慮をする。
- 私たちの修道会内の文化のユニークな面を尊重します。
- シスターたちの生活と使徒職を配慮し、また地元の市民や教会共同体におけるCSJの存在にも配慮していくことを約束します。
- 新しい構造を計画する過程であられる水面下にある課題、心配や恐れに対して配慮します。
- 現時点で、新たに想定された統治形態に対して参加しないことを希望するユニットの願いを尊重します。

総会決定事項の追加

ハワイのロセンゼルス統合

2014年12月、ハワイ準管区はロセンゼルスに統合したい要望を修道会リーダーシップ・チーム (CLT) に提出しました。その時以来、ハワイ準管区とロセンゼルス管区リーダーシップ・チームは、両管区の会員と共にあれこれ考え、この動きによって全姉妹達の生活の可能性を高めるものであると修道会リーダーシップと共に確信しました。CLTは、ハワイ準管区がロセンゼルス管区に統合するのを承認しました。2017年7月1日から実施されま

2019修道会総会内容の再考察

2013修道会総会は、2019総会の内容を決定しました。2017臨時総会において代表たちは、2013に確認した2019総会のための投票権代表数の増加についてその“傾き”を支持しました。臨時総会のメンバー達は、投票権のある代表者の数を増やす方法を考慮してほしいと修道会リーダーシップ・チームに頼みました。



ACTS OF CHAPTER

臨時総会決定事項

2017年4月21-25
日セントルイスに於いて

総会の決定事項: 全修道会統治の方向性

経過状況

臨時総会の目的は、すべてのレベルの統治を含む修道会全体の統治の方向性について識別し、決定することでした。「総会で始まった一つになることと組織に関して修道会内で会話と識別を続けること」という2013年の総会からの呼びかけに応じて、2015年の3月にプロセス・デザイン・チームが立ち上げられました。そのチームは、“見る—内省する—行動する”という識別のモデルに従って修道会内でのプロセスを計画しました。修道会全体の統治の方向性は、修道会の全会員が行うことを想定された共同体の識別で、それは2017年4月の臨時総会で完了しました。総会メンバーは、会全体の統治に関して以下の指示に同意しました。

会員間の関係を深め、修道会の一致を強化する一方、ミッションと私たちのカリスマが今の時代の必要性に応じるができるように新しい方法を探すことを要望します。修道会全体の統治形態の方向性は補完性、相互性及び一致の特徴を持ち、新しく考えられ、簡略化された統治形態に向けて、移行することを総会は決めました。この新しい形態は、ゆくゆくは現在の修道会、管区と準管区レベルのものに取って代わる可能性があります。

総会の決定事項: この方向への履行に関して

1. 2017年の臨時総会は、シスターたちの刷新委員会 (Innovation Committee) の設立を承認します。その委員会は2019年の総会で提示される簡略化された新統治形態の方向性に移行するモデル、プロセスおよびタイムラインを促進していきます。

CLT (修道会リーダーシップ・チーム) は、CLG (修道会リーダーシップ・グループ) と協議してその委員を任命します。その委員会はCLTとCLGに報告の責任があります。新たに見えてきた統治形態に関して、修道会内でそのモデルについて継続して対話の機会を設けます。

委員会は種々の技能をもつシスターたちによって構成され、各管区/準管区 から少なくとも1名のメンバーが含まれます。

2. 総会は活性化委員会 (Animation Committee) の設立を承認しました。その委員会は全修道会の関係を深め、個人的及び共同体的な変容の機会を提供する目的で、共有するプロセスを開発し、全修道会の関係を深めるために、管区を越えて分かち合う体験の機会を提供します。委員会は、CLT (修道会リーダーシップ・チーム) とCLG (修道会リーダーシップ・グループ) との協議によって任命され、報告の責任があります。